

文芸年ぶり

短歌

【岩瀬短歌会】

「みんな違ってみんないい」と深呼吸自分以外の人にはなれず 久保悦子

「二十首抄」選ぶに孫の感性をかりて最後の一首決めたり 大久保富美江

本当のこと言へないままの一週間やることを為すこと手違ひ続く 鈴木英雄

しんしんと降る雪の朝老いたる夫の寢息ききつつ平和を願う 大関登志子

朝戸出のたびに見て行くが何時しらに梅花ほつほつ大寒に入る 瀧井幸子

このかおりこのそよ風に春くるといちぢんの花そつとほほ笑む 兒玉廣子

折あらば娘に伝ふべきこと幾つうらうらとした春日に忘る 小林美瑛子

虚も実も緬い交ぜにしてA-Iの織りなす時代を老いて生きゆく 川崎邦子

寒風に吹かれて葉陰にひっそりと侘助映ける 兄の忌ちかし 渡辺しな子

色失せし田の面いつしら緑いろ寒風のなか麦は育ちぬ 雨谷友子

夫とわれ元気の源は食にあり今朝もキャベツのシャキシャキサラダ 浜野和操

トランプさえいい人に思えてしまうNHKの「やさしいことばニュース」

瀧田勇

りよう耳の先Vの字にカットされ地域ねことなりし野良つよく生きよ

広澤日出子

主なき生家をリフォームし娘の家族入居せし日に燕飛び交う

仁平千代

柵の小枝にイワシを刺しおきて悪鬼祓うと福豆をまく

泉三郎

【二般投稿】

神奈川で暮す孫二人大学生地本の人に好かれてな早くいい友づくりなど 青木勲

俳句

【茂山俳句会】※兼題「穀雨」「蝌蚪」「蒲公英」ほか当季雑詠

蒲公英の絮吹き散らす童かな 宮本立男

たんぽぽや丸くまあるく陽をあつめ

渡部千恵子

気味悪いと言いい可愛いと言う蝌蚪

相田ひろし

ラジオから「ひるのいこいや」穀雨かな

植竹ふみ

自転車に乗れば一人や初桜

金子弘毅

入院の荷物のひとつ春歳時記

海老沢幸子

山寺の賑わふ一樹百千鳥

酒寄誠

蒲公英の絮に一志のある如し

海老沢静夫

鐘一打ごと蝌蚪の紐解かれをり

君島真理子

【二般投稿】

満開や色鮮やかな里桜

長堀芳江

海来たしノートに絵描く麗かさ

小林衛子

おちこちに火事の多きや冬早

佐都志

はは恋いし偲ぶすべての雛飾る

登美子

寒さおき去り庭の桃の花咲く

入山比呂子

葡萄の花葉つばと一緒にミファソラシ

浅賀順子

俚謡

【さくら俚謡会】

青田除草に元気を出して秋の豊作待つ農家

山もみじ

ごろり寝ている青田の風に猫も女房も二段腹

花野しぐれ

夏になつたら暑くもなるが連日猛暑は異常です

みーちゃん

ひばり囀るる麦秋平野ビール欲しいと唄つてる

田哲人

陸・海・空・宇宙のテーマパーク

ユメノバ

宿泊、バーベキュー

下館ゴルフ倶楽部

6/7(日)まで 文化勲章受章画家 大山忠作展

6/10(水)から 文化勲章受章画家 森田茂展

廣澤美術館

自然・健康・文化の郷(まち) ザ・ヒロサワ・シティ

TEL0296-21-1234

